

2016年度 第二回構造最適化と設計小委員会議事録

日時：2016年8月25日(木) 12:30~13:00

場所：福岡大学 10号館 1025室

出席者：大崎純(京都大)、小野聡子(近畿大)、寒野善博(東京工大)、國光修五(ユニオンシステム)、澤田樹一郎(鹿児島大)、高田豊文(滋賀県立大)、平田裕一(三井住友建設)、藤田皓平(京都大)、山川誠(東京電機大)

Skype出席：松尾智恵(川口衛構造設計事務所)

欠席者：木村俊明(佐々木睦朗構造計画研究所)、笹谷真通(ARUP)、本間俊雄(鹿児島大)

記録：澤田(修正：山川)

1. 前回議事録の確認

修正意見は特になく、了承された。

2. 本小委員会 web サイトについて(澤田幹事)

本小委員会の web サイトの更新案について、澤田幹事より説明があり、以下の方針を確認した。

- (1) 構成委員のリストをアイウエオ順に修正する。
- (2) リンク集として、コロキウム 2015 で収集したリンク集を転載する。
- (3) リンク集は、見やすい階層構造とする。
- (4) 今後、成果物のファイル、リンク集のリンク先などの推薦があれば、澤田幹事に送信する。
- (5) 本更新案を修正し、9月1日に正式公開とする。その後は、随時更新していく。

3. 図書刊行について

図書刊行について、山川主査より説明があり、以下の方針を確認した。

- (1) 2章は、「最適化法入門(理論編)」とし、必ずしも構造最適化に限定しない。「2.1 最適設計」を寒野委員に、「2.2 ロバスト設計」を藤田委員に担当いただく。
- (2) 4.4 節のタイトルは、「トータルデザイン事例」とし、構造部品の事例よりも幅広い事例を扱う。
- (3) 4.6 節の「教育での実践」で扱う範囲については、たとえば、構造最適化に関する授業例や最適化ツールを用いた授業例なども含めて幅広い範囲で検討する。
- (4) 図書刊行としては、方向性がある程度かたまった段階で、応用力学運営委員会の意向も確認しながら、建築学会の応用力学シリーズも含めて、どのような形がよいか検討していく。
- (5) 次回 11/15 の小委員会では、各委員に、担当箇所の概要の箇条書きを作成いただき、説明いただくこととした。

4. その他

(1) 実務者アンケートについて

松尾委員より、実務者アンケートのたたき台を作成し、今年度のコロキウム構造形態の解析と創生でアンケートを実施することが提案され、試行的に実施する方針とすることを確認した。今後、たたき台が提示された段階で、山川主査が構造形態創生小委員会の熊谷主査に了承を得る。

(2) コロキウム合同委員会報告

山川主査より、コロキウム合同委員会の資料が、本小委員会のオンラインストレージにアップロードされていることが報告された。今後、本小委員会の委員に優秀講演の審査員の協力依頼をする予定であることが報告された。

(3) 次回小委員会 11/15(火) 14:00~17:00(建築会館)

次回小委員会では、藤田委員より一時間程度話題提供いただくこととした。また、各委員に、図書刊行の担当箇所の概要の箇条書きを作成いただき、説明いただくこととした。